

平成20年度日本学校ソーシャルワーク学会・東北ブロック研修会

地域・学校・家庭をつなぐスクールソーシャルワーカー ースクールソーシャルワーカーの役割と課題ー

共催 特定非営利活動法人 福島スクールソーシャルワーカー協会
後援 (申請予定) 福島県教育委員会、福島市教育委員会、福島県社会福祉士会、
福島県精神保健福祉士協会、福島大学

本年度の新規事業である「スクールソーシャルワーカー活用事業」が、全国の自治体や地域、学校・教育機関で活動をはじめました。スクールソーシャルワーカーとは何か。どういった役割を担うのか。さまざまな模索がある中で、この数ヶ月が過ぎました。

そこで、福島市を会場に、スクールソーシャルワーカーや教育関係者、社会福祉・精神保健関係者、関心のある方、学生等に向けた研修会を開催します。

日時 2008年8月23日 土曜日

場所 コラッセふくしま (JR福島駅西口より徒歩3分)

プログラム

第1部 10時受付

10時30分～12時 基礎研修講座「スクールソーシャルワーカーの仕事と学校支援」

講師 鈴木庸裕・福島大学教授 (福島県スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー)

第2部 12時30分受付

13時～ 基調講演 「文部科学省のスクールソーシャルワーカー活用事業について」

講師 岡本泰弘氏 (文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導第一係長)

14時30分～16時30分 パネルディスカッション

「スクールソーシャルワーカーの実践報告」

コーディネーター 鈴木庸裕 (上記)

報告者 福島・東北地域で活躍するスクールソーシャルワーカー 3名
(福祉士、心理士、教職経験者の立場から)

<申し込み方法>

第1部は資料代として参加費(資料代として)1000円・定員80名。

第2部は無料・定員120名

*第1部・第2部を明示いただき、参加者の氏名・所属等を下記の事務局までメールかFAXでご連絡ください。締め切りは8月18日(定員になり次第締め切ることがあります)

<申し込み・問い合わせ先>

日本学校ソーシャルワーク学会 事務局

960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学大学院教育学研究科(鈴木庸裕研究室)

024-548-8114 (FAX同じ)

メール: nsuzuki@educ.fukushima-u.ac.jp